



少年メッセージ和歌山県大会 7月29日(日)

紀美野町文化センターで開催された大会では、県内から17名の代表者が自分の考えや将来の夢を発表しました。本校3年齋藤ほのかさんは、日高地方大会終了後も更なる進化を求めて自身と向き合い、調整を続けました。

練習では、緩急のつけ方や言葉の運び方(滑らかさ)、間の取り方などを中心に改善し、本番ではこれまでの成果を発揮しました。



登校日の様子 夏休み期間中

各学年別に設けられた登校日では、ジュニア科学オリンピックが開催され(第1・2学年)、総合的な学習の時間として、文化祭での発表に向けて準備や練習を進め、お世話になっている地域の方々にお越しいただき、発表内容について意見をいただくなど、それぞれの学年に合わせた時間を過ごしました。



拉致問題に関する中学生サミット 8月10日(木)

第1回となるサミットが東京都にある国立オリンピック記念青少年総合センターに於いて各都道府県、及び指定都市代表の計67名の中学生が集い、開催されました。

和歌山県代表として生徒会長である3年三原菜結さんが参加しました。開会式では、内閣官房長官兼拉致問題担当大臣である松野博一氏からの挨拶があり、その後、北朝鮮による拉致被害者家族連絡会代表 横田拓也氏の講話から拉致問題についての知識を深めました。

午後からは各グループでのワークショップがあり、各々で同世代の仲間に拉致問題について“どのようなカタチ”で発信するべきなのかを議論し、発表しました。



缶サット体験会 in 串本 8月19日(土)

「缶サット(超小型模擬人工衛星)の製作体験を通して人工衛星についての理解を深め、宇宙の魅力を知る」を目的として実施された体験会。県内小学校5年生から中学校3年生の計44名が7グループに分かれて条件に沿った缶サットを作製しました。今回、2年生の宮本早亜弥さんが体験しましたが、彼女のグループが2位に入賞しました。おめでとうございます。

